

～ トイレ ～

あれ？何か違う… 2学期トイレに入ってそう感じた人はどれほどいるでしょうか？ そうです、夏休みの間に、業者の方がきれいにしてくださいました。あとは日常の掃除で、たまにプラスワンしていけば、ある程度キレイな状態がキープできるでしょう。廊下も教室もそうですが、たまにプラスワンの目で、気付いて動けると素敵です。



～ 絶賛合唱中 ～

先週の久御山大作戦開始式から始まった合唱練習。今年はなかなか苦戦中ですね。曲の難易度が上がったことと、5年ぶりの学年合唱で2曲歌うという大変なことにチャレンジしています。でも、大変だからこそ、やりがいや結束が高まるチャンスだとも考えています。

練習の様子や、学年リハーサルでの姿を見ていると、さすがに3年生！スムーズにリーダー中心に行動できたり、切り替えて進められたり、言われたことを意識してすぐにやろうとしたり。2学期最初の学年集会での河村先生や、去年の藤本先生の話にもあったはずですが、行事で大事なものはリーダーの動きだけではありません。それをひろげていくフォロアーの動きが大事です。つまり、役割のない人なんていないということです。

現状のままいけば、リモートではなく後輩や保護者の前での合唱です。

みなさんはどんな姿を見えますか？ どんな合唱を聴かせますか？

歌声のことでいうと、中学生（とくに男子）は変声期を迎えるので、学年によって歌声は全く違います。

1年生 元気な歌声 → **2年生** ひろがりのある歌声 → **3年生** 深みのある歌声

というイメージです。

“声”って、すごいと思うんです。人間ひとりひとりが全く別の声を持っているので、同じ合唱は他のメンバーでは歌えません。そのクラス、そのメンバーでしか出せない**雰囲気**や**一体感**、**味わい**があります。

「独唱」は、ひとりで歌うので、自分のアレンジや気分好きなように歌えます。

「合唱」は、みんなで歌うので、合わせる必要があります。30人以上で音を合わせ、ハーモニーを創っていくなんて、何て難しいことにチャレンジしているのでしょうか。

音を合わせることは、正しいメロディーに限りなく近付け、音のズレの幅をなるべく少なくする作業の連続です。そしてさらに抑揚をつけていく。曲を完成するには、音を合わせるだけでなく、気持ちを合わせる必要があります。

「みんなで音と気持ちを合わせる」というこのチャレンジを通して、つながりをより深めたり、人に感動を与えたり、自分たちで感動できたり、自分で納得できたり、何かしら感じてほしいと思います。行事が気乗りしない人もいるかもしれませんが、でも、日常ではなく、こういう特別な行事を通して学べることも、いろいろあると思います。

さあ、あと1週間。3年生らしい、まとまりのある、深い歌声の合唱を作っていきましょう。君たちなら、素晴らしいものができるはず！！

発表順	曲 名	指 揮	伴 奏	代 表
3 組	地球の鼓動	玉井 椋也	坂 孝太郎	政田 千明
2 組	手 紙 ～拝啓 十五の君へ～	國保 成太郎	小森 舞鈴	茨木 栞那
1 組	あなたへ -旅立ちに寄せるメッセージ	豊田 真大	奥村 日胡	津村 綾音
4 組	友～旅立ちの時～	北尾 健人	塩飽 奏	菰田 陽貴
学年	栄光の架橋	荒巻 維新	山口 夏歩	津村 綾音

